

# 事業報告

〔自 令和 3年 4月 1日〕  
〔至 令和 4年 3月31日〕

## 1. 事業の概況

### (1) 事業の経過及び成果

当期は、富山市の公共施設である八尾地域都市公園、神通川水辺プラザ自然ふれあい学習館、久婦須川ダム周辺広場、八尾パインパーク、八尾サンパーク、八尾ゆめの森交流施設の指定管理者として、施設の管理運営業務を展開しました。

一方、自主事業として、富山八尾中核工業団地内の道路法面の管理業務等を受託するなど、自主財源の確保に努めました。

当期の経常損益については、営業収益 199,899,740 円から営業費用 240,117,836 円を差し引いた営業損失は 40,218,096 円、営業外損益を加えた経常損失は 20,428,745 円となり、ここから特別損失 2,877,000 円と法人税等 232,500 円を差し引いた当期純損失は 23,538,245 円となりました。

### (2) 財産の状況

当期末の総資産は 147,203,223 円、純資産は 71,829,244 円であります。

### (3) 今後の取り組み

北陸経済調査によると、北陸管内の経済動向は、個人消費や観光・飲食サービスにおいて持ち直しの動きがみられ、全体として「感染症の影響がみられるものの、持ち直しつつある」とされ、先行きについては、社会経済活動が正常化に向かう中で、景気の持ち直しが期待できるが、ウクライナ情勢等に伴う原油や原材料価格の高騰など、景気の下振れリスクに十分注意する必要があるとされています。

温泉宿泊施設「ゆうゆう館」においては、コロナ禍の中、宿泊や宴会の予約が入らず大変苦しい状況にありますが、利用者数は昨年に比べ微増しています。

コロナ禍においても、施設情報を積極的に発信し誘客に努めるとともに、コスト意識を持って効率的な施設運営に努めつつ、お客様には安心・安全で極め細かいサービスを提供できるよう最大限の努力を払ってまいります。

これからも、地域に根付き、親しまれ、信頼される企業を目指し、より良い施設運営に取り組み、地域の発展に寄与してまいります。